



2019年11月5日

各位

会社名 ブラザー工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐々木 一郎
 (コード番号:6448 東証・名証第一部)
 問合せ先 執行役員 財務部担当 伊藤 敏宏
 (TEL 052-824-2075)

2020年3月期通期連結業績予想の修正
剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催された取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月8日の2019年3月期決算発表時に開示した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想を修正することとしましたので、以下のとおりお知らせいたします。また、2019年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を決議するとともに、2020年3月期の期末配当予想を修正することとしましたので、合わせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社株主に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期利益
前回発表予想(A)	6,900億円	650億円	650億円	489億円	485億円	186円71銭
今回修正予想(B)	6,420億円	605億円	598億円	446億円	445億円	171円30銭
増減額(B-A)	△480億円	△45億円	△52億円	△43億円	△40億円	—
増減率(%)	△7.0%	△6.9%	△8.0%	△8.8%	△8.2%	—
前期実績(参考) (2019年3月期)	6,840億円	719億円	723億円	542億円	539億円	207円54銭

(2) 修正の理由

米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題などの影響により、グローバルで景気に対する先行きの不透明感が高まっております。この影響により顧客の設備投資需要の低迷が長期化しているマシナリー事業の業績が当初の見込みを大幅に下回る見通しとなったほか、為替の想定レートを円高方向に見直したマイナス影響も踏まえ、通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

2. 剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当(中間配当)の内容

	決定額	直近の配当予想 (2019年5月8日公表)	前期実績 (2019年3月期中間)
基準日	2019年9月30日	同左	2018年9月30日
1株当たり配当金	30円00銭	33円00銭	30円00銭
配当金総額	7,803百万円		7,802百万円
効力発生日	2019年11月29日		2018年11月30日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2019年5月8日公表)	33円00銭	33円00銭	66円00銭
今回修正予想		30円00銭	60円00銭
当期実績	30円00銭		
前期実績 (2019年3月期)	30円00銭	30円00銭	60円00銭

(3) 期末配当予想の修正の内容

当社は、将来の成長のための投資に必要な内部留保の確保やキャッシュ・フローの状況などを勘案しつつ、安定的な株主還元を実施することを基本方針としております。

2021年度を最終年度とする新中期戦略「CS B2021」においては、次なる成長に向けた成長基盤の構築のための投資を行う一方で、連結配当性向35%を目標として、安定的な利益還元を実施してまいります。また、急激な経営環境の悪化による著しい業績低迷時を除き、1株当たり年間60円を配当の下限水準といたします。

当年度の配当につきましては、通期連結業績予想の引き下げおよび上記利益還元方針に基づいて改めて算出し、当年度の第2四半期末の配当金については、前年同期と同額となる1株当たり30円、期末配当予想も同様に前年度と同額となる1株当たり30円とさせていただきます。これにより、2020年3月期の1株当たり年間配当金は60円となり、連結配当性向は35.0%となる見込みです。

以上